

# 蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 24 年 9 月 21 日(金)

第 18 号

発行人 校長 鈴木史良

## 真の音色はこころにあり 2

—— テノール歌手、下野昇氏を迎えて ——

9月18日(火)の午後、テノール歌手の下野昇氏をお迎えし、ミニリサイタルと合唱指導を行っていただきました。下野氏は東京芸大で声楽を専攻し、その後ウィーン国立音楽大学に留学した経歴をもつオペラ歌手で、国際コンクールでの受賞も数多くあります。帰国後は日本のオペラ会で活躍し、あの小澤征爾さんとも数多く協演したそうです。現在、二期会会員であり、山梨大学名誉教授もなされています。まさに声楽のプロ中のプロと言えるでしょう。今回、本校音楽科担当の飯島百合先生の紹介で下野先生をお招きすることができました。

にこやかな表情でステージに立たれた下野先生は、全校生徒が見守る中、飯島先生のピアノ伴奏に合わせて、シューベルトの「菩提樹」を歌い始めました。“♪♪ 泉に沿って茂る菩提樹…♪♪” 全身からあふれ出るような声です。(あれ?日本語だ。)ドイツ語で歌われるものと予想していた私ですが、下野先生は歌の内容をこどもたちにも理解しやすいように日本語で歌ってくれたのです。

2曲目はアイルランド民謡「ロンドンデリー・エア」です。「エア」とは日本語で言う「〇〇節」の「節」に当たる言葉だそうで、「ロンドンデリー節(ぶし)」とでも言えそうです。アイルランド第2の都市ロンドンデリーに伝わる民謡で、「ダニーボーイ」とも呼ばれ、息子を思う母の気持ちが表現されています。アイルランド民謡は他にも多くの歌が日本人に親しまれていますね。20年ほど前のこと、私のロンドン勤務時代に日本のフォークソングを歌ったときに、英国人たちから「その歌はアイルランド民謡みたいだ。」と評されたことを思い出します。

3曲目は、北原白秋の詩に山田耕筰が曲をつけた「まちぼうけ」をコミカルに。

待ちぼうけ、待ちぼうけ  
ある日せつせと、野良稼ぎ  
そこに兔がとんで出て  
ころりころげた 木のねっこ



体育館に響き渡る下野先生の発声



子どもたちの合唱を指導する下野先生

歌詞は中国の思想書の一つ『韓非子』の中にある説話「守株待兔(しゅしゅたいと)」より。内容は、昔、宋に農民がいた。彼の畑の隅に切り株があり、ある日そこにうさぎがぶつかり、首の骨を折って死んだ。獲物を持ち帰ってごちそうを食べた百姓は、それに味をしめ、次の日からはクワを捨て、またうさぎがこないかと待っていたが、二度と来なかった。

そのために作物は実らず、百姓は国の笑いものになった、というもの。この故事から守株(しゅしゅ)という成句ができました。古い習慣に確執し、全く進歩がないこと、また、臨機応変の能力がないことの意味です。

アンコールとして歌ってくださったのは、イタリアのナポリ民謡(カンツォーネ)の「オー・ソレ・ミオ」でした。明るい南欧の太陽を彷彿とさせ、それよりすばらしい恋人を賛辞するという歌詞を、つやつやと輝きのある歌声で歌っていただきました。お礼の言葉を述べた3年鈴木仁平君は、この曲を家で聴いたことがあったそうです。

## 下野昇先生の言葉

ミニリサイタルを終えた下野先生は、短い時間でしたが各学級の合唱を聴き、熱心に指導してくれました。その中で特に強調されていたのは、『歌詞を通して歌の心を伝える』ことでした。ハーモニーは整っているものの、歌の心が伝わってこないクラスには“感じたものを歌にしていけることが大切。歌詞を朗読した方がいい。”とアドバイス。“歌うように語って、語るように歌え。”と森重久弥さんの言葉を引用して説明。発声では、“言葉をはっきり、しっかりと。”が基本。そのためには上(のど)からではなく、下(はら)から声を出すことが大切であること等を教えていただきました。

下野先生にたくさんのことを教わった深中生たち。これらの貴重な言葉をどのクラスが生かすことができるでしょうか。蒼葉祭合唱の部は一週間後に迫っています。

## 「グローバル・アイ」の時間に生まれる中学生の意見

### 9/6「脱原発」へ五里霧中(静岡新聞記事)を読んで

政府が「脱原発」を掲げたのはいいのだけれど、近々解散総選挙があるみたいなので、中途半端な政策を行ってから解散すると、次の政権がすごく困ると思うので、今ごろから新しいことをやるのはやめてほしい。さらに「脱原発」の目標を掲げただけで、何も具体的な策を出していないので、少し無理があると思う。(2年男子)

### 9/13 小中高のいじめ7万件(静岡新聞記事)を読んで

全国で7万231人もの人が「いじめ」にあっているとは知らなかった。県内だけでも3095件も把握していてびっくりした。「いじめ」による自殺のニュースをよく見るけれど、死ぬのはよくないと思う。「いじめ」が取り上げられることによって、どこからどこまでが「いじめ」なのか分からなくなってきた。県、国はしっかりとした対策をとってほしいと思った。(3年男子)

### 9/20 ハワイの大自然に感動(静岡新聞記事)を読んで

ハワイのゴミ処理の方法は「埋め立て」。私のハワイのイメージは海がきれい、自然がきれい、ということです。けれど、ゴミ処理の問題があるということは、これから先、ゴミ処理について考え直さないと、「きれいな海」「美しい自然」が破壊されてしまうかもしれません。環境について見直してほしいです。(1年女子)

